

●事業コンセプト

「いさのおんがくたい」とは？

事業コンセプト

「赤ちゃんから入場できるコンサート」

この企画は、「赤ちゃんから入場できるコンサート」として、若手演奏者たちが、企画・構成・出演することをコンセプトにしています。

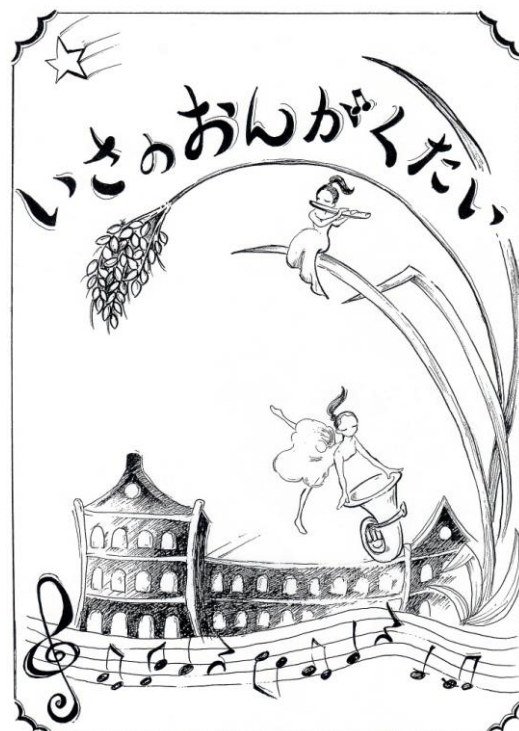
また日ごろ、育児などでクラシックコンサートなどに出かけることがなかなかできない若いお父さんや、お母さん、赤ちゃんからお年寄りまで、身近にあるホールで、気軽に音楽を聴く機会を提供することを目的としています。また、『演奏をとおして、楽器の持つ「生の音」のよさを体感(冒険)してもらえるように』と、若手の演奏者たちが中心になって立ち上げました。

一般にコンサートという大きな空間(ホール)で、いろいろな照明や音響があつてという大々的なものを想像されると思います。この企画は、照明も音響も最低限で、空間も200人くらいが入る小ホールが会場です。基本は楽器のもつ生の音とホールのもつ響きですから、演奏者を身近に感じることができます。

それぞれのコンサートでは、演奏者の個性と発想を最大限に生かし、曲目やプログラムも、演奏者が演奏したい曲を中心に、演奏者自身が構成します。また、楽器体験等の聴衆参加のコーナーを取り入れたり、聴衆とやりとりを取り入れたり、既成の形式・概念にとらわれず、自由にプログラムを組み立てることができるのも特長です。

また、この一連の事業を通して、聴衆であるお客様には、身近にあるホールで、「目の前で演奏される生の音を聴き、身近な場所で感動を享受する楽しさ」を、味わっていただきたいと考えています。

演奏者(出演者)も、聴衆も、一緒になって気軽に楽しめるコンサートを目指します。



毎回、このイラストの表紙でプログラムを作成しています。



●「いさのおんがくたい」の概要

1 事業名 「いさのおんがくたい」

2 主催 いさのおんがくたい実行委員会

・【実行委員会のコンセプト】

- 実行委員会は、地元に住居又は活動している演奏者等を中心に構成する。
- 演奏者については、伊佐市文化会館を拠点として、広く一般から募集する。
- 「演奏を楽しみ、音楽に親しむ」機会を創出する。

・【主な活動内容】

- 「いさのおんがくたい」事業の企画・運営
- ミニ・コンサートへの出演・ワークショップの実施
(ミニコンサート:規模は会場も人数も小規模 ワークショップ:体験事業、出前演奏)
- 自団体以外のミニ・コンサートや、ワークショップの運営支援 (相互支援)

3 共催 伊佐市教育委員会

「いさのおんがくたい 2017」 出演者募集要項

【出演資格】

- ① 出演者は、主に伊佐市及び鹿児島県内で演奏活動に取り組む個人又は団体とし、プロ・アマは問いません。
- ② 本事業の基本コンセプトは、「赤ちゃんから入場できるコンサート」(未就学児童入場可)です。
- ③ 公演日は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 10 日までの土日祝祭日とします。演奏者の希望をお伺いしてから、相互に調整して決定します。
- ④ 出演時間は、ミニ・コンサートはおおむね 1 時間以内、参加型ワークショップは 2 時間以内とします。
- ⑤ 演奏形態は、ソロでもアンサンブルを問いません。ただし、高校生以下の演奏者のみを中心となる場合は、あらかじめご相談ください。
- ⑥ 楽器使用の場合は、原則アコースティックとし、歌唱の場合は、生声とします。
- ⑦ 当日のプログラム案・会場設営案については、演奏者が直接ホールまたは会場を確認の上、構成してください。(出演が決定しましたら、それぞれの出演者に関する公演日までに、順を追って提出していただく書面等と合わせて、準備物等の一覧を送付します。プログラムの印刷及び必要な広報は、ホール及び実行委員会でも行います。会場設営で人手が必要な場合は、可能な範囲で、ホールと実行委員会がお手伝いします。)
- ⑧ 会場は、原則、伊佐市文化会館小ホールを使用します。他の会場を希望される場合は、事前の打合せ時にご相談ください。(演奏の形態によっては、大ホール舞台上を使用することもあります。)
- ⑨ 使用する楽器等の機材は、グランドピアノを除き、持ち込みとします。搬入・搬出は出演者の責任で行なっていただきます。
- ⑩ 会館備付のピアノは以下の 2 台です。

種類	メーカー	番号	全長
グランドピアノ	ヤマハ	品番:CF 製番:3360200	260 cm
グランドピアノ	ヤマハ	GIII 1813246 E	167 cm

- ⑪ チラシ、広報の内容等については、出演者と実行委員会で調整し、概ねコンサートの 2 ヶ月前までに決定します。リハーサル・準備については、コンサートの 1 ヶ月前までに調整していきます。
- ⑫ 出演が決定しましたら、文書で通知します。決定後は、リハーサル・本番まで、演奏者と実行委員会が相互に打合をしながら、公演当日まで進めていきますので、ご協力ください。

【費用等】

- ① 出演謝金はありません。ミニ・コンサートの入場料は原則無料で行っています。特に入場料を設定された場合は、あらかじめご相談ください。
- ② 出演料は不要です。

- ③ 文化会館の公演及びリハーサル時の会場使用料、備品等使用料は免除されます。その他の経費(飲食等)は出演者の負担でお願いします。なお、練習に伴う施設使用料等は、免除対象とはなりませんので、ご注意ください。
- ④ 著作権許諾に関する手続きは実行委員会で行います。著作権許諾が発生する曲目、プログラム等は、公演の約1ヶ月前までにお知らせください。

【申込方法】

別紙出演申込書を記入のうえ、期日までに、郵送、持参、電子メール又はFAXで、実行委員会事務局へ提出してください。

《提出先》 いさのおんがくたい実行委員会 実行委員長 瀬崎宛 (または事務局宛て)

〒895-2701 伊佐市菱刈前目 2106 番地 伊佐市役所菱刈庁舎文化スポーツ課内

【連絡先】 電話番号 0995-23-1311(内 2322) FAX 番号 0995-26-1055

k-sport@city.isa.lg.jp

【募集に関するお問い合わせ】 実行委員長 瀬崎 宛て

電話番号 0995-23-1311(内 2132) メール isano.ongakutai@gmail.com

(メールアドレスが変わりました。ご注意ください。)

【※切について】

第1回締切 (平成29年4月から平成30年3月) 平成29年3月21日(火)

第2回締切 (平成29年8月から平成30年3月) 平成28年6月30日(金)

ただし、申込者が予定した回数に達した場合は、第2回目の募集をしない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

【その他】

不明な点は、上記連絡先へお問い合わせください。

「いさのおんがくたい」活動実績一覧表(2014年度以降分)

平成29年1月現在

平成29年1月末時点で延べ6,000名(84公演、内小学生以下2,100名)を超えるコンサートとなりました。平成28年度においては、17公演(内研修会3回、アウトリーチ・コンサート5回、ホールコンサート1回)を実施中です。

No.	日程	内容	演奏者(敬称略)	入場者数 (内、小学生以下)
49	H26.5.18 (日)	ミニ・コンサート(トランペット)	二反田 耕治	54人 (4人)
50	H26.6.21 (土)	ミニ・コンサート(ピアノ)	ピアノグループ「エミュ」	112人 (51人)
51	H26.7.5 (土)	ミニ・コンサート(歌、フルート)	檜サークル	86人 (21人)
52	H26.9.7 (日)	ホール・コンサート(オーケストラ)	鹿児島大学友会管弦楽団	81人 (23人)
53	H26.10.25 (土)	ミニ・コンサート(吹奏楽)	大口吹奏楽団	64人 (5人)
54	H26.11.9 (日)	ミニ・コンサート(声楽)	鹿児島国際大学声楽専攻学生	36人 (3人)
55	H26.11.9 (日)	アウトリーチコンサート 星空コンサート in 南永小学校 (吹奏楽ほか)	大口吹奏楽、エミュ、スイートネス	132人 (36人)
56	H26.12.6 (土)	ミニ・コンサート(マリンバ)	マリンバデュオ「パレット」	48人 (28人)
57~60	H27.3.13 (木) H27.3.14 (金)	おんがくのおんがくの種まきコンサート アウトリーチコンサート(ピアノ) in 大口小学校	田村 緑(ピアニスト)	148人 (148人)
61	H27.6.5 (金)	おんがくのおんがくの種まきコンサート アウトリーチコンサート(ピアノ) ホール・ワークショップ	田村 緑(ピアニスト)	24人
62	H27.6.7 (日)	おんがくのおんがくの種まきコンサート クラシックの伝道師 ピアニスト田村緑の 3才からの本格クラシック	田村 緑(ピアニスト)	220人 (42人)
63	H27.6.14 (日)	ミニコンサート(トランペット)	二反田耕治	32人 (5人)
64	H27.9.6 (日)	ミニコンサート(斉唱、ソロ、デュエット)	ひのきサークル	61人 (16人)
65	H27.10.3 (土)	ミニコンサート(吹奏楽)	いさ吹奏楽団	64人 (12人)
66	H27.12.20 (日)	ミニコンサート((ピアノ、女声合唱)	エミュ、大口明光学園合唱部	55人 (16人)
67	H28.1.30 (土)	ミニコンサート(吹奏楽)	鹿児島信用金庫吹奏学部	69人 (15人)
68	H28.2.20 (土)	ミニコンサート(チューバ)	本倉敬之	17人 (4人)
69	H28.2.27 (土)	ミニコンサート打楽器(マリンバ)	マリンバデュオパレット(橋野清香、安田奈緒子)	40人 (2人)
70	H28.6.26 (日)	ミニ・コンサート (アンサンブル)	くまきちアンサンブル	73人 (20人)
71	H28.7.31 (土)	ミニ・ワークショップ	音遊び こんぺいとう	40人 (13人)
72	H28.8.19 (金)	企画研修会①	菱川 浩二	5人
73	H28.8.20 (土)	企画研修会②	菱川 浩二	3人

74	H 2 8 . 8 . 2 1 (日)	企画研修会③	菱川 浩二	9 人
75	H 2 8 . 8 . 2 8 (日)	ミニ・コンサート (トランペット)	二反田 耕治	51 人 (5 人)
76	H 2 8 . 9 . 2 4 (土)	ミニ・コンサート (管弦アンサンブル)	鹿児島大学管弦楽団	55 人 (10 人)
77	H 2 8 . 9 . 2 4 (土)	ホールワークショップ & ミニ・コンサート	TABASKA & TABASKA Annex	75 人 (41 人)
78	H 2 8 . 1 0 . 1 2 (水)	アウトリーチコンサート① (ハーブ)	Sheep	25 人 (14 人)
79	H 2 8 . 1 0 . 1 3 (木)	アウトリーチコンサート② (ハーブ) in 大口明光学園 中等部	Sheep	67 人
80	H 2 8 . 1 0 . 1 3 (木)	アウトリーチコンサート③ (ハーブ) in 曾木小学校 3~6 年生	Sheep	30 人 (20 人)
81	H 2 8 . 1 0 . 1 4 (金)	アウトリーチコンサート④ (ハーブ) in 大口明光学園 高等部	Sheep	55 人
82	H 2 8 . 1 1 . 1 2 (土)	アウトリーチコンサート(吹奏楽・トランペット) in 南永小	二反田 耕治・いさ吹奏楽団	75 人 (20 人)
83	H 2 8 . 1 1 . 1 3 (日)	ミニコンサート (吹奏楽)	いさ吹奏楽団	58 人 (4 人)
84	H 2 8 . 1 2 . 4 (日)	ミニコンサート (合唱・アンサンブル)	大口明光学園合唱部・ おとぐるま	27 人 (3 人)
85	H 2 9 . 1 . 1 4 (土)	ミニコンサート (マリンバ)	マリンバデュオ・パレット	44 人 (11 人)
86	H 2 9 . 3 . 4 (土)	おんがくの種まきコンサート	Sheep	

(アンケートから)

ご来場いただきましたお客様から寄せられたアンケートから一部をご紹介します。

- ◇ 4歳の女の子と0歳8カ月の男の子の母です。なかなか子連れOKのコンサートがないため、今回のコンサートを新聞で知り、嬉しくなって出水から来ました。4人の奏者の方々は皆笑顔がステキで、ミュージカルやアニメの曲といった親しみやすい曲も演奏してくださり、ありがたいです。二人ともよく聴いていました。子どもたちの参加型のコーナーも楽しめました。(30代女性)
- ◇ 皆で歌える曲は、歌詞を載せてほしい。保育園児が参加していて、楽しそうでした。(70歳以上女性)
- ◇ 選曲、企画、ともに良かったです。また、とてもよい気分で帰れます。(60代男性)
- ◇ 初めてきましたが、素敵な演奏でした。また来たいと思いました。懐かしい曲もあり楽しかったです。(60代女性)

(演奏者から)

出演者からのコメントをご紹介します。

いさのおんがくたいへ出演させていただいてから早いもので4度目となりました。今年度はハーブ2台で小・中・高校のアウトリーチコンサートを4公演巡りました。

アウトリーチとは、アーティストが地域の学校へ生の芸術をお届けに行くことです。

学生たちに少しでもハーブという楽器の魅力を知っていただけたと思います。

プログラム作りに関しても、特別研修プログラムに参加し、実演しながらいただいたご意見を参考に、それぞれの学年に合わせたプログラムを製作しました。約1年かかりましたが、いさのおんがくたいの皆さんの協力もあって、アウトリーチを成功させることができました。地域にとっても若手音楽家にとっても、財産となる企画だと感じました。

ハーブデュオ Sheep 小城遥香 下野由貴

伊佐で毎月クラシックの魅力発信♪

おんがくたい 50回目演奏会



本番会場で連弾の練習に余念のない「エミュ」のメンバー
＝伊佐市文化会館

赤ちゃんから入場できるコンサートを。伊佐市の若手演奏家が毎月1回、市民にクラシック音楽の魅力を伝える「いさのおんがくたい」コンサートが50回目を迎える。口蹄疫などの危機を乗り越え、伊佐に音楽の種をまき続けている。

コンサートは、実行委 うしろO10年4月に始員会（瀬崎広文委員長） 買った。ほぼ毎月開くニミが手弁当で企画 運営。ニコンサートは出演者利用頻度の少ない同市文 を公募。年1回の「おんがくたい」は発表の場、市民トでは県内外からさまに鑑賞の機会を提供しよ さまざまなジャンルの演奏家

口蹄疫の危機乗り越え



コンサートの様子＝2013年6月、伊佐市文化会館（伊佐市教委提供）

節目となる21日は、市内のピアノ講師ら6人でつくる「エミュ」が出演。中野卓代表(46)は「50回も続くなんですごい。発表の機会を与えたらいい励みになる。当日はピアノによるハーモニを楽しんで」。瀬崎委員長は「みんなに支えられて迎えた50回。今後も伊佐の音楽の種をまき続けたい」と話す。21日は午後2時開演。無料。同市文化会館10995(2)6320。(谷上英文)

コンサートを開始直後、宮崎県で口蹄疫が発生。イベントの中止が相次ぐ中、「せつかく始めた活動が萎縮してしまう。最大限配慮して演奏機会を確保しよう」と続けてきた。



（谷上英文）

ピアノの秘密 演奏家に学ぶ

伊佐市の大口小学校で12、13日、学校などで音楽の魅力を紹介するピアノニストの田村緑さん、写真中央、東京都11が出前演奏会「おんがくたい」を聞いた。4、5年生148人は演奏とともに、「ピアノの秘密」にも触れた。

市民に音楽の魅力を発手作りコンサートで

信する「いさのおんがくたい」実行委員会の企画。児童はグランドピアノの構造を学んだほか、田村さんが演奏するピアノの下をくぐったり、取り囲んで寝そべったりして体全体で音の響きを感じた。

ムソルグスキー「展覧会の絵」を聴きながら曲の題材となった絵を見比べたほか、ハンドベルや合唱で共演。5年の吉元愛織さん(11)は「ピアノの下をくぐった時の振動がすごかった」と喜んだ。

6月には伊佐市で田村さんのコンサートがある。「子供たちは乗りがよかった。コンサートがクラシック音楽に興味を持つきっかけとなればと期待した。」

ハープの秘密 演奏家に学ぶ

伊佐市民に音楽の魅力発信する「いさのおんがくたい」実行委員会は12、14日、市内の2校で出前演奏会を開いた。小城道香さん(26)鹿児島市、下野由貴さん(26)同市のハーフトリオ「Shee」が演奏とともに

ハープの秘密を2人から(大きな)に紹介した。13日午前は大口明光さん(13)が、ハープの弦の構造や、実際に触れながら弾く機会が得られた。小城道香さん(26)は「3年の演奏会、大崎明日加さんは「弦がいつばいあつてそれを弾くのが迷った。ハープの音色は宗教音楽のようです」と満足を語った。小城さんらはハープに触れて、親近感を持ってくれた」と喜んだ。(谷上英文)

ハープについて調べる中学生＝伊佐市の大口明光学園